



春 江 だ よ り

12 月 号

令和6年11月29日

展覧会を終えて

校長 小林 麻子

校庭の木々の落ち葉が増え、日が沈む時刻も早くなり、冬を感じる季節となりました。

さて、11月13日から16日までの4日間、展覧会を実施いたしました。土曜日は1日の公開とさせていただきます、4日間で、のべ1164名のたくさんの保護者、地域の皆様にご鑑賞いただきました。土曜日の午後は、お子さんと一緒にご家族で参観される様子も見られ、自分の作品の前で、嬉しそうに話をしている子供たちの姿が大変微笑ましく感じられました。学校は今年度4月から展覧会委員会を発足し、展覧会に向けての準備を始めました。図工専科教員を中心に個々の教員の経験知で題材を考え、若手教員や低学年担任については図工専科教員が指導方法等について研修を行ったり相談を受けたりしながら、教員は「すべては子供たちのために」という姿勢で、準備と指導にあたりました。そして、本校の子供たちは、素直に指導を受け、前に進んでいく素晴らしい力を発揮しました。

代表委員会の話合いで決まった展覧会のテーマ「一つ一つていねいに心をこめよう～楽しんで自分らしい作品に～」は、子供たち自身がどのような展覧会にしたいかを主体的に考えたものです。そのテーマの通り、子供たちは作品に思いを込め、製作を楽しみながら、また、友達と一緒に共同作品に取り組む楽しさを味わいながら、世界で一つしかない作品を作り上げました。そして、600人以上の作品を教職員が配置を綿密に考えながら、1週間ほどかけて毎日毎日丁寧に展示をしました。そして、体育館、廊下、一部の教室が子供たちの芸術の世界となりました。

展覧会開催中に、「とてもすばらしかったです。作品を見て思わず笑顔になりましたよ。」と直接ご感想をいただきました。その言葉にこちらも温かい気持ちと笑顔になりました。実施後にも、保護者、地域の皆様から多くの温かいご感想をいただいております。ありがとうございます。

- ・子供の頑張りや成長を感じることができ、とても良い機会だなと思いました。
- ・体育館以外にも展示があり、見ごたえがありました。子供たちの感性やそれぞれ個性が出ていて見ていて楽しめました。
- ・展示の仕方が見やすく、それぞれの作品が活かされた見え方でとても素敵な空間でした。上級生になるほど複雑な作品になっていて、それぞれの独創性や思いをととても大切にしていることも伝わってきて感動しました。
- ・他のみなさんの作品を親子で鑑賞しながらいろいろと会話し、楽しい時間を過ごすことができました。
(いただいたご感想より)

展覧会を通して、子供たちはやり遂げることで達成感を感じ、それを成長につなげるとともに、共同作品の取組を通して、友達の良さや協力することの大切さを学んだことと思います。この経験を糧に、一人一人が自分の成長を実感し自信を深め新年につなげていけるよう邁進する12月にしたいと思います。